

# IDN TLDに関する検討状況

2007年4月25日  
第18回ICANN報告会

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田博文

<http://堀田博文.jp/>

# 目次

- IDN TLD検討のスコープ
- ICANN Lisbon会合での関連発言
- IDN熱
- GNSOの状況
- ccNSOの状況



2007年3月28日

IDN GAC-GNSO-ccNSO Working Groups Workshop

# IDN TLD検討のスコープ

## • 技術

### NSレコード

- IDNをASCII表現した文字列(Punycode)を、他TLDとは独立な新しいTLDとみなし、ルートゾーンに書き込む
- 例: 「.JP」と「.日本」は別TLD  
技術的問題がないことを、実験で実証済み

### DNAMEレコード

- IDNをASCII表現した文字列(Punycode)を、関連するTLDの別名とみなし、ルートゾーンに書き込む
- 例: 「xxx.日本」は、「xxx.jp」に読み替える  
仕様の明確化・検証をIETFにて確認中

## • ポリシー

GNSO, ccNSO, GAC等で検討が佳境

# ICANN Lisbon 会合での関連発言

- Paul Twomey (事務総長)
  - @ 最初のパブリックフォーラム
  - 「IDNに関する検討や技術検証は順調に進んでおり、2007年末もしくは2008年には利用可能にできる」
- Vint Cerf (理事長)
  - @ IDN GAC-GNSO-ccNSO Working Groups Workshop
  - 「IDN gTLDとIDN ccTLDには、本質的差異はない」

# IDN熱

- ほぼすべてのICANN関連組織が、コミュニティからのIDN TLD導入要求があることを認識し、課題の抽出と解決に向けた検討を実施

GNSO

ccNSO

GAC

ALAC

その他

- 検討実施体制

組織個別の検討

共同作業部会

- GNSO-GAC
- ccNSO-GAC
- GNSO-ccNSO

# GNSOの状況

- IDN-WG 2006年後半に設置
- 課題と解決策
  - TLD文字列同士の間形異義(例:キリル文字AとASCII A)、異体字(例:辺と邊)、酷似の回避
  - 地理的・政治的な名称、政治的影響力を持つ名称のTLDは、GACと協議
  - 言語文字のコミュニティからの意見を取り入れ
  - 既存ASCIIレジストリに、そのASCII TLDに対応するIDN TLDへの優先権なし
- 全ての課題に対する方策を出してからIDN TLDの提案募集を開始すべきという意見と、できるだけ早く提案募集を開始すべきであるという意見があり、結論未

## ccNSOの状況

- IDN-WG 2006年後半に設置
- その国で用いている文字をTLDとして使いたいという要求(必要性)が強いccTLDあり
- GACと協力しての課題整理の第1回目の物理的会合を実施し、課題リストについてほぼ合意：最終合意形成中
- 課題の主なもの
  - IDN ccTLDとして用いる文字列は、意味があるものであるべきか？
  - ひとつのccTLDに対して、IDN ccTLDを作る文字種は1種だけか？
  - IDN ccTLDラベルは、各ccTLDが任意に決めてよいか？
  - 誰がIDN ccTLDのレジストリとしてIDN ccTLD文字列を申請/提案できるか？
  - 誰がIDN ccTLDのレジストリを決定するか？
- 課題リスト作成作業と並行し、各課題への回答検討を開始

## 今後の予定(想定)

- 2007年6月に、IDN ccTLDに関するポリシー課題リストを ccNSOとGACからICANN理事会に提出
- 上記と並行して、ポリシー課題解決策を、ccNSOがGACと相談しつつ検討
- GNSOは、ポリシー課題解決策をさらに検討
- 2007年後半(?)から、課題解決策とIDN TLD導入の進め方をICANN全体で議論